

「農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策に関するシンポジウム」の開催について

1 趣旨

本会議の趣旨を踏まえ、作業安全対策について、分野を横断して新たな運動を開始することを内外に表明するキックオフとし、全国の関係者と連携した取り組みの機運を醸成することを目的として、以下の通りシンポジウムを開催する。

2 日時等

日時：令和2年3月17日（火）10時から12時30分（予定）

会場：ベルサール御成門タワー

所在地：東京都港区芝公園1-1-1

3 シンポジウムで実施する事項（予定変更の可能性あり）

（1）基調講演

①「農林水産業・食品産業の作業安全をめぐる事情、今後の取組について」

【農林水産省】

②「日本の労働者の安全を確保するために（仮称）」

【（独）労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所長 梅崎重夫氏】

③民間事業者（調整中）

（2）パネルディスカッション

各分野における取組の紹介を踏まえた安全対策の方向性を議論。

事業者、研究者、民間企業の取組を紹介いただき、業界の垣根を越えた安全対策の方向性について議論。

（参考）「マッチングミーティング」の併催

近年、農林水産業においても導入が始まっているスマート技術については、負傷しやすい作業の軽減や、作業自体の無人化・遠隔化に資するものも多く、これらの普及は、作業事故の発生抑制にも貢献する。

このため、作業安全の推進に資するスマート技術を一同に集め、民間企業等と農林水産事業者等が直接対話し、技術のさらなる発展や普及を目指す「農業現場における新技術の実装に向けたマッチングミーティング」を併催し、その相乗効果で、安全対策についての機運醸成をさらに推進する。

「マッチングミーティング」は、様々なテーマでこれまでに6回開催しているが、今回、作業安全をテーマとして初めて開催。